

Tudo bem? ブラジルより

学校教育課 島内三都子

★ここマリンガは、ロンドリーナからバスで1時間半ほどの所です。少しずつ少しずつパラナ州を左上に動いています。

日差しは強く、少し動くと汗が出ます。日本の8月並み？しかし、日陰はひんやり風もほどよく、気持ちよく過ごせます。また、緑が多く、あちこちにある街路樹のトンネルを車で走り抜けると、とってもいい気持ち。日系人も多く、流暢な日本語での会話がよく耳に入ります。安全性も高いとのこと。確かに一人歩く時の怖さはクリチバとは雲泥の差、朝のウォーキングができるってうれしい環境です。

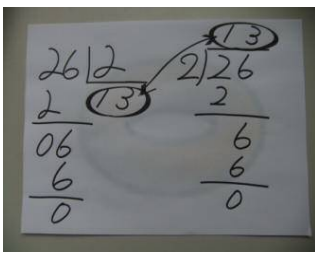


『いろいろな学校』を訪問しています[4]

◆私立学校【Colegio Sao Francisco Xaver】

マリンガの学校は、パブリックであっても学校はきれいです。外壁の落書きが少ない！それだけでも印象は大きく異なります。ここは私立なので、とりわけ施設設備のよさが光る学校でした。

1才半～17才の子どもたち700人が二部制で勉強し、日本語の勉強も週1時間あるそうです。

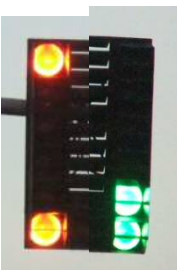


教室を回り「算数の先生です」と紹介されると、よく頼まれるのが「わり算の筆算」の板書で、ここもしかり！本当は、子どもに問いながら途中の計算を書いて行きたいところですが、ちょっと勉強不足なので、次に備えようと思いつきながら、「無言」で答えを出しました。そのあとは、校長先生による『ブラジルと日本の書き方比較講座』となり、「おー!!」「あ～!!」と大歓声。大発見の喜びでしょうか、子どもたちのうれしそうな顔が鮮やかに残っています。

訪問した週は、12日の【子どもの日】に先駆けて、子どもたちを楽しませるためのイベントが実施されており、この日の休憩時間は大騒ぎでした。これは先生？と心配しちゃいましたが、よかった、1日雇われている「イベントおねえさん」でした。



街を歩くと…信号&ゴミ置き&公衆電話



★信号★マリンガ発祥の信号機。考案した人は皆にさんざん否定されながら亡くなったそうで、まさか将来こんなに活躍するとは知る由もなく……ロンドリーナでも採用されている。実はコレ、合成写真なので赤も青も点灯中だけれど、実際には、どちらか一方しかつくことはない。(あたり前!!でないとおぶつかるし)上の赤が時間とともに下がり、やがて赤は1つになる。そして、赤が消えると同時に、今度は最も離れた位置の青2つが点灯する。上の青が下の青を目指して動き、1つになった青が消えるかわりに、すぐ横の黄色がつく。そしてふりだしへ。

動画ならこんなにまどろっこしい説明なしで、もっとリアルに伝わるのだけれど。

★ゴミ置き★ 歩道にこんなものが立っている。これはゴミがあさられないように高い所に保管するための“かご”で、なかなかの優れもの。週2～3回の回収であふれ返る様子は見えず、結構きれいに使われているからすごい！



★公衆電話★ ん?だれかの携帯?よく聞くと音の主は公衆電話。時間を決めて、公衆電話の番号にかけているんだとか。「よくありますよ」ふ～ん。ほんとかなあ?と疑いながらも、誰か待っていたらおもしろかったのになあとふり返りふり返り…。

